

国際協力へ

多国籍医師団設立を発表

AMDA 国連NGO認定記念祝賀会



国連NGO認定を祝う祝賀会(あいさつするAMDAメンバー)岡山国際ホテル

岡山市に本部を持つアジア医師連絡協議会(AMDA)の国連NGO認定などを祝う記念祝賀会が二日、岡山市門田本町の岡山国際ホテルで行われた。席上、AMDAの菅波茂代表がアジア

発起人を代表して稲葉侃爾・中国銀行頭取が「AMDAの岡山を拠点とした世界的な活動に対し、これからの医療救援活動のための多国籍医師団

AMDA 国連NGO 認定を祝う

「アジアに加え、アフリカの医師も参加した国際医療救援のための多国籍医師団の設立を発表した。」

祝賀会は、AMDAが今年、国連の認定する医療救援NGO(非政府組織)に認定されたこと、今年受賞した「三木記念賞」や「連アトロス・ガリ賞」を祝ったもので、県内の財界や

向を示した。また、シブチなどアフリカ諸国から要請のあった「アジア・アフリカ多国籍医師団」を新たに設立することを表明した。

AMDAによると同医師団は、ネパールやインドなどアジアの医師中心に組織されていた従来のAMDAの医療救援活動のための多国籍医師団に、新たにアフリカの医師を加え結成。現在活動中のジブチやナイロビ(ケニア)のAMDA地域の事務所のほか、このほどAMDAと連合岡山(村上格会長)、部落解放同盟県連合会(伊沢卓士代表)が合同で開設することを決めたプレトリア(南アフリカ)の事務所を拠点に、アフリカ内で医療救援活動を行うほか、AMDAが行う世界各地の救援プロジェクトに参加する。